

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

ハマグリ太平洋中・南部

対象水域	太平洋中・南部	参画機関名	水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門 沿岸生態システム部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター、愛知県水産試験場漁業生産研究所、三重県水産研究所、宮崎県水産試験場、全国豊かな海づくり推進協会
------	---------	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_254.pdf）、次回令和 7 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ ハマグリについては、ハマグリとチョウセンハマグリの2種について情報収集を実施
- ・ 機構は調査指針ならびに資源評価調査状況報告書の作成を実施
- ・ 各県は漁獲統計調査を実施
- ・ 三重県は分布・資源量調査を実施
- ・ 千葉県（チョウセンハマグリ）は生物情報収集調査を実施
- ・ 協会は県別放流実績調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

ハマグリ

- ・ 千葉県では2007年～2022年の漁獲量を収集済み
2023年以降の漁獲量を収集中
- ・ 愛知県では2015年～2022年の漁獲量（主要港）を収集済み
2023年以降の漁獲量を収集中
- ・ 三重県では2007年～2022年の漁獲量を収集済み
2023年以降の漁獲量を収集中
過去の漁獲量について、資料を精査のうえ修正作業中
- ・ 三重県では2023年以降の生息密度および殻長データを収集中

チョウセンハマグリ

- ・ 千葉県では2001年～2022年の漁獲量を収集済み
2023年以降の漁獲量を収集中
- ・ 千葉県では2023年以降の殻長、体重等測定データを収集中

- ・神奈川県では2001年～2022年の漁獲量（主要港）を収集済み
2023年以降の漁獲量を収集中
- ・宮崎県では2007年～2022年の漁獲量を収集済み
2023年以降の漁獲量を収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_254.pdf)
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

特になし